

第4回大宮区区民会議 次第

平成23年7月26日(火)
15:00～17:00
大宮区役所南館3階302会議室

1 開 会

2 協議事項

協議テーマ「地域資源を結ぶまちづくり」について 資料1-1～2

(1) 第3回区民会議 グループワークの振り返り

- ・第3回区民会議でみなさんに発表していただいた、「目指す姿」について出された意見を振り返ります。

(2) 提言項目の絞込み 資料2-1～2

- ・何を提言項目とするか、シール投票等により絞り込みを行い意見交換します。

(3) 提言づくりに向けた基礎調査について 資料3-1～2

3 その他

4 閉 会

【配布資料一覧】

次第

- 資料1-1 第3回大宮区区民会議A班のまとめ
- 資料1-2 第3回大宮区区民会議B班のまとめ
- 資料2-1 提言書の目的(目指す姿の整理)
- 資料2-2 これまでに出された意見のまとめ(提言に向けたアイデア一覧)
- 資料3-1 提言づくりに向けた基礎調査実施要領(当日机上配布)
- 資料3-2 提言づくりに向けた基礎調査票(当日机上配布)
- 参考資料1 第5期大宮区区民会議検討スケジュール
- 参考資料2 第3回大宮区区民会議会議録

第3回 大宮区区民会議 A班のまとめ

メンバー：新井さん、生越さん、風間さん、神戸さん、柴崎さん、名田さん、宮原さん、渡辺さん（8名）

核となる資源

目指す姿

NACK 5 スタジアム

NACK5 スタジアム
 ・ホームでの試合の時には県外の集客、泊まりでの来訪もある。
 ・大宮公園駅からのオレンジロードを作って、（観戦客が）迷わず行けるようにして欲しい、と周辺自治会長からの要望あり。

観光客を呼び込めるから。 集客力があるから。

大宮駅

大宮駅
 ・昔から人々が集まる場所で、これからも「出発」や「中継」の役割があるから。

1日の乗降客数：30万～40万人
 JR東日本で第8位！
 東武野田線で第2位！

大宮駅の東西をつなぐものが必要（昔、地下に自転車道があった）

大宮駅東口と（競輪場）
 ・東西南北を結ぶ重要な拠点であり、新幹線も発着する駅だからイメージをアップしたほうがよい。

東口は、全国で唯一再開発がつぶれた。

人の移動は大きなポイントだから。 集客力があるから。

凡例：
 区民会議委員の付箋
 コンサルによる書き取り、補足メモ

歴史・文化的資源

・氷川の杜 ・大宮二十景
 ・氷川神社

氷川の杜
 （氷川神社・氷川参道・大宮公園）
 ・大宮といえば氷川神社
 歴史的・大宮の名・文化的資産

大宮二十景
 氷川神社・参道・芝川
 ・心なごむ芝川、桜並木等の整備。

歴史（特に氷川神社）
 ・昔、アド街ック天国で1位外部からの知名度が高い。氷川神社の総本山

初詣：全国で第8位か9位。3が日で200万人。 関東の氷川信仰の総本山。

氷川神社が核となることで、他の資源がつながる。

歴史（特に氷川神社）
 ・大宮の名前の由来にもなった。「武蔵一の宮 大宮氷川神社」は「大いなやそれに付随するその他もある」

大宮の由来は「大いなる宮」

大宮二十景の再確認
 ・NHKセンター（単独・複合）設置（核）により東口ルートが発進する。（氷川の杜）

大宮駅から氷川の杜までのルートに活用。

観光客が呼び込めるから。 知名度が高いから。 重要な資源だから。

人材（高齢者の団体・組織）

資源名
 歴史的、文化的資源（神社・景観など）
 高齢者（65歳以上）の団体・組織
 大宮駅とその東西のまちなみ

何故必要か？重要か？
 観光客や、人の移動が呼び込める。組織的、体系的に動員できる。人の移動の最も大きいポイント駅を通らず、東西に往来出来ることで、高齢者、障害者も容易に。

組織的、体系的に動員できるから。

市内他区住民が遊びに来やすいまち

さいたま市の他区住民が大宮へ遊びに来やすくなる。

県外からの観光客が観光施設を回りやすいまち

県外からの観光客が様々な施設を回りやすく時間的なロスの少ない状態

北関東からの買物客が気軽に観光できるまち

北関東からの買物客がついでに回りたくするような気軽な観光スポット的な状態

訪ねたい歴史的文化があるまち

区民・来訪者が新旧の資源を知り、めぐれるまち

歴史的資源が活用され、他県にPRされているまち

《訪ねたい歴史的文化がある町》
 ・新旧の資源を、区民も来訪者も、はとバスのように、コースをいくつか作って巡れるようにする。（案内がステーションで出来る）
 ・バス（循環）
 ・ガイド（人材活用）登録制
 ・サイクリングコース（親子）

小学生とかが、社会科見学で県外に行くように、他県から来てくれるように、歴史的資源を活用して、アピールしていく。（区よりの配布物とか）児童（講演会を市からの情報で知ることがあるので）

区民が安心して住め、交流や生きがいのあるまち

目的
 ・住民が住みやすい道路（日常生活）が便利になる様な町（道路整備）
 ・高齢者の生き甲斐を集う町

人が集まりやすいように、住みやすいように、「キケン」ではない町であって欲しい。

区民が安心して住める町
 ・歩道 ・散歩
 ・自転車 ・車

転入者が大宮の歴史や文化を知りながら、住民交流ができるまち

他県から転入して来た人が大宮の歴史や文化、大宮公園、氷川の杜などを紹介したり交流する機会を設ける。住みやすいまちづくり。（県人会の設置）

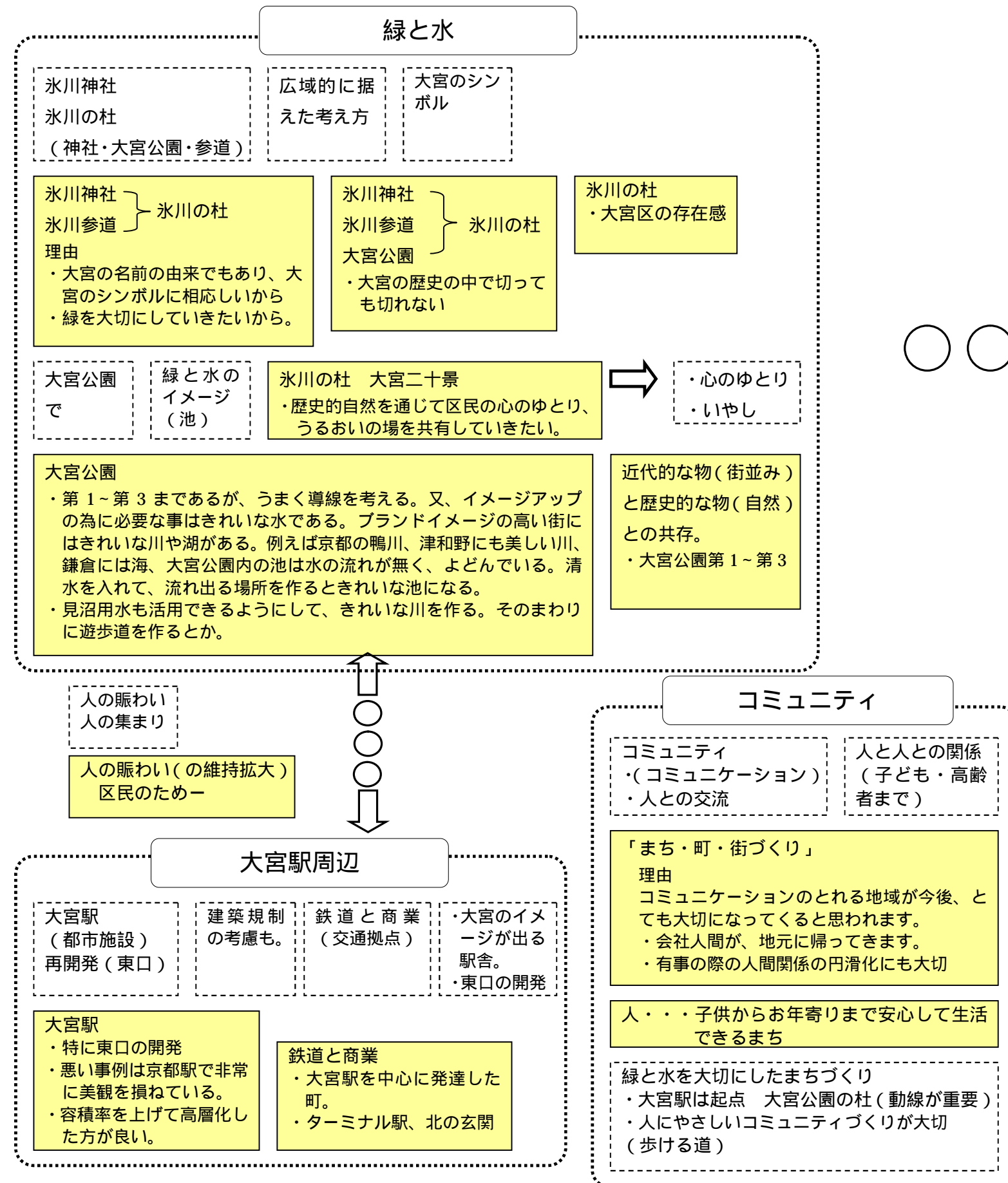
高齢者が資源の保全など地域貢献をしながら生きがいを持てるまち

「資源の保全」に人は欠かせない。
 ・この人に人口の20%以上を占める高齢者の手を使用することが大事。
 ・この背景には高齢者の生き甲斐作りにつながることや、地元の資源の保全が同時に期待できる。
 ・保全は、自然、建物とその周辺など多岐に渡る。
 ・それぞれのプロも育成できるのでは！

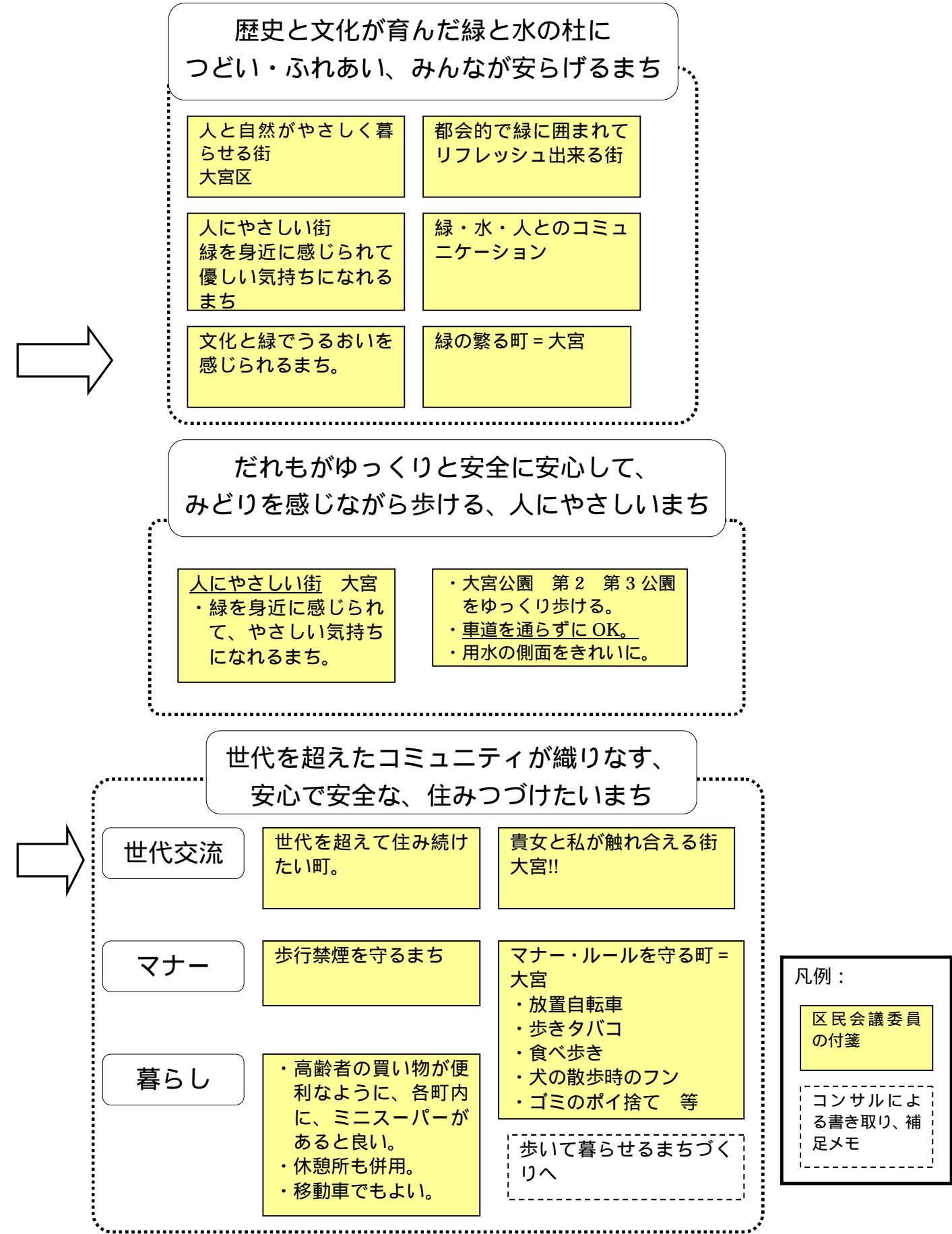
第3回 大宮区区民会議 B班のまとめ

メンバー：飯野さん、猪俣さん、金尾さん、斉藤さん、杉村さん、立入さん、谷口さん（7名）

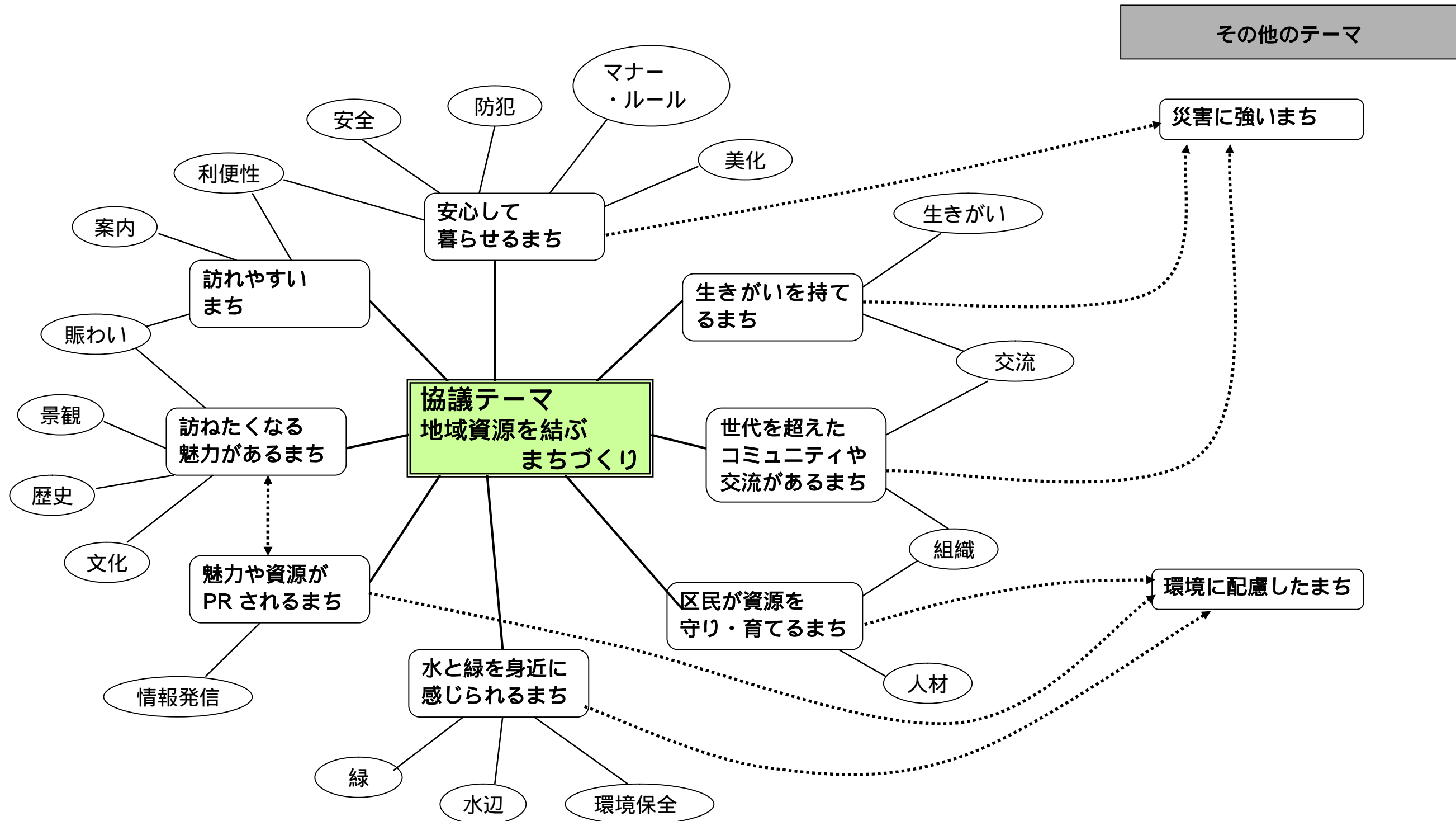
核となる資源



目指す姿



提言書の目的（目指す姿の整理）



これまでに出された意見のまとめ（提言に向けたアイデア一覧）

対象（地域資源）

氷川の杜

- 氷川神社
- 氷川参道
- 大宮公園
- NACK5 スタジアム

自然

- 見沼代用水と田んぼ
- 芝川
- 桜並木
- 鴨川と田んぼ

大宮駅

- 交通の要所
- 商業の中心
- 近代的な施設群
- 鉄道

人的資源

- コミュニティ
- まちづくりの環境

これまでに出た主な取り組みアイデア

利便性

- オレンジロードによる誘導
- 遊歩道・自転車道の整備
- 大宮駅の東と西を結ぶ
- 駐車場の整備
- バスコースの設置

案内

- 案内板の設置

賑わい

- 新たな資源の開発（名物づくり）（B級グルメ等）
- 大宮区と川越市（県内有数観光地）を結ぶ
- 大宮駅東口再開発・周辺の活性化
- 公共施設等の誘致
- 公用地の活用

景観

- 電線類地中化・電柱地中化
- 落ち着いた街並みづくり
- 高層ビルに囲まれた街よりも横に広がる街並み
- 人の流れが広がるような街並み

歴史

- 歴史・文化をめぐるサイクリングロードの整備
- まち歩きができるルート作成
- 地域資源を結ぶ交通手段の開発・充実
- 既存資源に+ で連鎖と魅力を増す

文化

情報発信

- PR・アピールの仕方の改善（PR手法の研究）
- ブランドイメージづくり
- 地域資源を区民にもっと知ってもらう取り組み
- 大宮区の特徴と魅力の全国発信の研究
- 地域にある No.1 企業の PR

緑

- 見沼代用水・芝川兩岸のサイクリングロード整備
- 氷川神社から大宮公園・第二公園へのジョギングコースの整備
- 大宮公園内の池の水の浄化

水辺

環境保全

- 自然エネルギーの活用

安全

- 道路の整備
- 放置自転車の撲滅
- 遊歩道・自転車道の整備
- 自転車専用レーンの設置
- 大宮駅と連携した防災の取り組み
- 大宮区の地震災害対策の検証と提言

マナー・ルール

- 放置自転車の撲滅
- 食べ歩き・歩行喫煙の禁止
- タバコの吸いながら・ゴミのポイ捨ての禁止
- 飼い主のモラル向上

防犯

美化

- 食べ歩きの禁止
- タバコの吸いながら・ゴミのポイ捨ての禁止
- 禁煙ゾーンのPRと駅前喫煙所の整備または廃止

生きがい

- シニア中心の倶楽部活動
- 誰でも参加できるイベント
- 地域資源を守り育てる
- 高齢者の生きがいづくり

交流

- 住民交流の場の設置
- イベントによる世代交流

組織

- 地域資源を守り育てる各地域組織（自治会等）の連携
- 各種団体のネットワークづくり

人材

- ガイド（人材活用）登録制
- 区民会議の存在を周知して、応援団をつくり、理解者を増やす
- 区民会議と自治会の協働作業の拡大による地域の課題把握と一体感の醸成
- 区民意見の把握による具体的な方策の発案システムの構築

提言づくりのための基礎調査(第1弾)の進め方

平成23年8月から11月にかけて「現状と課題の整理」に取り組むことになります。
大宮区の実情にあった提言をつくるために、委員のみなさんにも調査にご協力いただきたい
と思います。調査結果は区民会議全体で共有し、課題を整理していきます。

平成
23年
8月

8月上旬

調査項目の決定

事務局報告〆切：
8月11日(月)

8月上旬に、調査シート、及び第4回区民会議で決定した提言項目に関する調査タイトルリストをお手元に郵送します。
調査タイトルリストの中から、ご自身で調べてみたい!と思うものを選び、選んだ項目を事務局に報告していただきます。

皆さんが選択された調査項目に著しい偏りが見られる場合は、調整させて頂く可能性があります。

8月中旬
~下旬

調査実施



調査タイトルが決定したら、調査シート内の「調査タイトル」と「1.調査方法」の部分を記入した上で、調査を実施します。

例) 調査タイトル：大宮区内のサインの整備状況
調査方法：大宮二十景をめぐる最適なルートを設定し、サインの整備状況を写真とメモで記録する(調査シート記入例参照)

8/26

調査内容や結果に
関する相談・報告会
(任意)

ある程度調査が進んだ(もしくは終了した)段階で、疑問や不安に思う点などについて相談・報告したい、という場合は、調査シートをお持ちの上、区役所までお越しください。
調査内容・方法や、まとめ方に関するアドバイスをさせていただきます。

8月下旬
~
9月上旬

調査シートの完成

調査が終了したら、調査シート内の「2.調査結果」と「3.提言づくりに向けて」の部分を記入し、調査シートを完成させます。
なお、調査中に調査方法を変更した場合は、調査シート内の「1.調査方法」も修正してください。

9月上旬

調査シートの送付

事務局必着：
9月5日(月)

調査シートが完成したら、調査シートを事務局に送付します(郵送、ファックス、Emailのいずれでも結構です)。



みなさんから提出された調査シートをもとに、コンサルが調査結果のとりまとめを行います。

9/22

調査結果の共有

第5回
区民会議



みなさんの調査結果と、コンサルで別途調査した内容から、提言項目における現状と課題を整理し、共有します。
また、今後、より具体的な提案に向けて更に調査が必要と思われる項目を抽出し、10月上旬から11月上旬にかけて、同じステップで調査を進めることを予定しています。

平成
23年
9月

誰もが迷うことなく大宮の魅力を楽しめるまち

に向けた提言づくりのための基礎調査

調査タイトル

大宮区のサインの設置状況

お名前

調査期間 月 日～ 月 日

1. 調査方法

大宮駅二十景など大宮の観光スポットを一筆書きで回れる最適ルートを設定する。
 ルートに沿ってまち歩きをしながら、サインの設置場所を白地図にプロットする。
 サイン毎に写真を撮るとともに、形態（大きさ、材質、新旧の別）や内容（掲載内容、記載言語の数と種類、情報の正確性等）のメモをとる。

2. 調査結果

大宮駅付近：大宮駅構内・付近には、新しく大きい、大宮区の顔にふさわしい案内版が設置されていた。これなら区内の観光スポットのどこにでも行けそうである。
 氷川の杜：文化財の標識は設置されているが、周辺を含めたまち歩き用のサインがない。
 大宮盆栽美術館：大宮公園駅に小さい看板があるのみであり、そこから美術館までの道なりにはサインが1つもない。また、言語は日本語のみである。
 はなみずきの並木道：並木道の両端に「はなみずきの並木道」という標識はあるが、そのいわれや、はなみずきの特徴を知るための情報がない。
 鴨川：

別添資料として、ルート図、サインの設置場所をプロットした図面、サインの写真データを提出。

あくまで記入例であり、事実ではありません。

3. 提言づくりに向けて

「誰もが迷うことなく大宮区の魅力を楽しめる」まちを目指す上での課題	課題を解決するためのアイデア
<ul style="list-style-type: none"> 大宮駅のサインは充実しているが、それ以外のスポットでのサインの設置が不十分である。特に駅の西側に少ない。 	<ul style="list-style-type: none"> 大宮駅だけではなく、まち全体をめぐって貰えるよう、区内全域にサインを設置する。
<ul style="list-style-type: none"> サインの種類がばらばらであり、統一感がない。 	<ul style="list-style-type: none"> 「大宮」というブランドを演出するためにも、サインの種類を統一する。

に向けた提言づくりのための基礎調査

調査タイトル

お名前

調査期間 月 日 ~ 月 日

1. 調査方法

何をどのように調べるか、ご記入ください。

2. 調査結果

調査の結果について、ご記入ください。

記入スペースが足りない場合は、別紙を添付してください。

3. 提言づくりに向けて

なまちを目指す上での課題	課題を解決するためのアイデア
調査で分かったこと、気づいたことをご記入ください。	左に記入した課題に対して、解決アイデアがあれば、ご記入ください。

第 5 期大宮区区民会議検討スケジュール



平成 23 年度第 3 回大宮区区民会議 会議録

1 日時・場所

日 時 平成 23 年 6 月 30 日 (木) 14:00 ~ 16:20

場 所 大宮区役所 6 階大会議室

2 出席者 24 名

(委員) 15 名 (敬称略)

谷口明夫会長、生越康治副会長、金尾美知子副会長、
新井一弘委員、飯野明委員、猪股幸子委員、風間裕子委員、神戸栄寿委員、
斉藤清司委員、柴崎正司委員、杉村英仁委員、立入健司委員、名田満子委
員、宮原律夫委員、渡辺栄雄委員

(オブザーバー) 1 名

尾藤 (副区長)

(事務局) 5 名

細田 (コミュニティ課長)、長島 (コミュニティ課参与)、寺村、磯、浅見
(以上コミュニティ課)

(コンサルタント) 3 名

小田、黒丸、桑原 (以上(株)地域計画連合)

3 議事次第

(1) 開会

(2) 報告事項 大宮区市民活動ネットワークについて

(3) 協議事項 協議テーマ「地域資源を結ぶまちづくり」について

第 2 回区民会議事前アンケートの振り返り

グループワーク

～「地域資源を結ぶまちづくり」について、

大宮区が目指すべき姿を考えよう～

(4) その他

(5) 閉会

4 議事の主な内容

(1) 報告事項

大宮区市民活動ネットワークについて

事務局から6月28日に実施した、第1回大宮区市民活動ネットワーク交流会の会議内容について概要を説明。

(2) 協議事項 協議テーマ「地域資源を結ぶまちづくり」について

第2回区民会議で各委員から発表いただいた、協議テーマについて出された意見を振り返った。

「地域資源を結ぶまちづくり」で大宮区が目指すべき姿を考えると、2つのグループに分かれ、「地域資源を結ぶまちづくりで核となる資源」について、「大宮区が目指す姿」について意見交換、グループワークを行い、最後に各班から発表を行った。

発表では、氷川の杜に象徴される、緑と水など自然に親しめる街、大宮駅から氷川参道、大宮公園へと安全に歩ける街、コミュニケーションのとれる街など、活発な意見が出されました。

(3) その他

事務局から、区民会議のホームページについて、現在の区のホームページにある区民会議の紹介コンテンツと、区民会議が運営しているホームページについて説明した後、区民会議が運営するホームページを現在のホームページから、市民活動サポートセンターのホームページに掲載する提案があり、協議の結果、今後は、現在の区民会議のホームページを市民活動サポートセンターのホームページに切り替え、掲載することとなる。

また、次回日程は、7月26日(火)大宮区役所南館302会議室で行うことと決定した。

以 上